

令和7年度 丹波桜梅園みずほ寮 地域連携推進会議 議事録 (第1回)

日 時 令和7年7月25日(金) 13:30~15:30
場 所 みずほ寮 談話室
会議参加者 みずほ寮 管理者(寮長)・サービス管理責任者
利用者代表・地域関係者・保護者代表・福祉関係者 (計7名)

1. 開会・挨拶

本会議は初めての開催となるため、寮長より挨拶があり、その後出席者全員による自己紹介を行った。続いて、寮長よりみずほ寮の概要について配布資料に沿って説明があった。

2. 議題

① 施設と地域の連携について

- ・みずほ寮の利用者の方は概ね自分の事は自分で出来ている方が多いが不十分な方もおられる為助言や支援、服薬管理などを行っている。
- ・コロナ渦の前は、町開催の行事や草引きのボランティアの活動もしていたが、利用者の方の年齢も高くなり、感染症の面から何年か前からそれも出来なくなった。しかし、寮の方達だけでの取り組みは行っておりドライブやカラオケ、公園へお弁当を持って出掛けるなど利用者が楽しめる取り組みは行っている。

② 施設やサービスの透明性・質の確保について

- ・配布資料にて概要や日課など読み上げ説明と確認を行う。(加えて下記報告)
- ・寮の建物は賃貸している。
(家賃¥15000 国からの補助¥10000 実質負担¥5000)
- ・服薬支援は職員が直接口に投薬し飲み間違い、飲み残し等ないようにしている。
- ・朝、夜ミーティング時に体調確認をする。(排便の有無、必要時は緩下剤服用)
- ・休日は休日プログラムを組み、皆で出来る取り組みをしている。(掃除やおやつ作り等)
- ・障害者年金より寮の必要経費は多くなることはない。(食事は1食あたり200円前後)
- ・寮単独運営では赤字経営、園含めてのグループホームで成り立っている。
- ・健康診断などは町検診を無料で受けている、予防接種などは実費。

③ 利用者の権利擁護

- ・利用者の方も色々希望がありその聞き取りを行っている。聞き取りについては寮のサービス管理責任者が行う聞き取りと相談支援センターの聞き取りがあり、双方合わせながらの個別支援計画書を作成している。

- ・金銭管理は寮の金庫で1人当たり月1万円以内を保管し、購入希望があってその金額内で対応できるものについては購入している。
- ・虐待については常に意識して支援している。研修も受けている。

④ その他（意見等）

- 地域関係者より・・・日々利用者の方々や職員の方に対して目に見えないご苦労や気遣いがあると思うが、利用者の方の性格なども十分理解されているからこそ出来る部分、言える事もあるとの話があった。外泊は出来るかとの質問があり、春休み、夏休み、冬休みという形で帰省をしてもらっていると答える。
- 利用者家族より・・・一番最初の印象が訪問した際にお味噌汁の香りがとても良く、入所のお話があった時にはお願いしようと思った、入所してからも不安もなく安心して任せられる。又、宿直体制がとってあり、職員が常に居てもらえることは入所選択の条件となった。意思疎通が難しい子だが嫌な事は嫌と表現する。帰省して「寮へ帰るよ」と伝えても嫌がらない。利用者同士のちいさなトラブルはあるだろうが全体に居心地が良いのだと思うと話があった。
- 福祉関係者より・・・寮での生活がしっかりとプライバシーが守られている事、取り組み、生活必要経費（食費）の安さなど日々工夫を重ねておられることが分かったとの話があった。
- 利用者代表より・・・ご飯が美味しい、楽しいとの話があった。

3. 閉会

以上の内容をもって会議を終了した。

令和7年 7月25日

記録 みずほ寮サービス管理責任者